

## 地方会議（静岡県静岡市）

### 1. 日時、場所

平成24年5月27日（日） 13時30分～15時30分  
静岡県総合研修所もくせい会館「静岡県職員会館」

### 2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 120名

### 3. 参加者の意見

#### （1）出された意見数（課題別）

全体意見数	31
資金調達	1
経営指導・経営支援	7
技術力・人材（技能承継等）	4
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	5
若手・青年層の活力発揮	3
女性層の活力発揮	4
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	5
その他	2

#### （2）主な意見

##### 【資金調達】

- ・中小企業は研究開発費の捻出に苦労している。法人税率を大企業と中小企業で差をつけるなど、研究開発を支援するしくみがほしい。

##### 【経営指導・経営支援】

- ・中小企業が新連携や農商工連携などの認定を取った後、ビジネスとして展開できるまで国で支援してほしい。
- ・地域金融機関として、金融支援だけでなく、経営支援も一生懸命やっていきたい。行政等と連携し、ネットワークのハブとして使ってほしい。

##### 【技術力・人材（技能承継等）】

- ・中小企業を支えるコンサルティングには高い技術が求められる。そのような能力をもつ人材の育成をお願いしたい。
- ・人材の確保は、中小企業の存続に関わる問題。オンリーワンの技術を持つ

ていることをアピールして、若者を集める仕組みづくりをお願いしたい。

#### 【販路開拓（海外展開等）】

- ・単に助成金ではなく、販路開拓の弱い部分をサポートする体制を組んでほしい。
- ・海外展開するにあたって、市場調査に対する助成や専門家のサポートがほしい。
- ・海外の展示会で評価をうけても、売りに出すのは言語等の障壁がある。通訳や、契約におけるサポートをいただきたい。

#### 【若手・青年層の活力発揮】

- ・インターネットの普及等により、若者の起業の熱が盛り上がりつつある。アントレプレナーシップは、起業をする人だけでなく、企業に就職する人にも必要なマインドであり、支援すれば活力の発揮につながる。
- ・今の若者はお金だけで動くわけではない。自己実現したい人たちが、中小企業に集まってもらえるシステムづくりや、情報発信について、考える必要がある。

#### 【女性層の活力発揮】

- ・女性の育児休業制度自体は素晴らしいが、零細企業では実現困難。本当に女性を活用できる政策を考えてほしい。
- ・在宅就業を希望する女性が多いが、公的な支援の形があまりないため、ハローワークなどでも扱ってもらえると有り難い。
- ・女性の起業等について、相談しやすい、女性の商工会議所のようなものがあるとよい。

#### 【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・中心市街地は存在感、信頼感を取り戻す必要がある。夢や希望を生み出す街にしていかなければならない。
- ・このような会議を全国の市町村レベルに落として行うべき。

#### 【その他】

- ・働く人が幸せでないと、お客さんに優しい顔をして接することができない。「子供が熱を出したので休みたい」と言われれば「いいよ」と言ってあげられるような、愛情のある会社になりたい。
- ・自動車保険が本当に必要な若者は、保険料が高い。事故が起きた際、相手が無保険だと困るので、仕組みを変えてほしい。